

ロイロノート「資料箱」活用

ア 活動の概要

ロイロノートの資料箱のフォルダは、学年ごとに作成され、その中に資料を保存した。今年度は、委員会発表がビデオ放映となったので、各委員会が、発表内容をロイロノートの資料箱に入れ、後日、各クラスで視聴するという形となった。右の写真は、6年のフォルダ内の階層である。

教科ごとにフォルダを作っており、必要な資料を作成し入れてある。

学年統一事項もこのフォルダに入れておくことで、学年間で足並みを揃えられると同時に、資料もそのまま児童に配付できるため、指示・伝達に役に立った。

また、それぞれのクラスで作成し、有効だった資料などを入れておくことにより、別々に作業をする必要もなく、よりよい活動をすることができた。今年度の児童が作成したノートを手本として残す活用もしている。



【資料箱のフォルダ】



【6年フォルダ】

イ 活用したアプリ

a ロイロノート

ウ 実践のコツ～チーム学校として～

a 活用頻度の向上

学年間でフォルダ作成をしていったところ、各学年に広まっていった。学年間だけでなく、委員会活動など異学年に伝えたい内容を保存しておくことで、活用頻度が増えた。

b 留意点

自由にフォルダが作れてしまうため、煩雑になってしまうおそれがある。最初に大まかなフォルダを作成し、その後活用する必要がある。

エ 成果と課題

a 成果

学年間だけでなく、異学年とも情報を共有することができるため、ワークシートや教科の資料など手軽にやりとりをすることができた。

b 課題

動画など容量の大きいものは、スムーズ再生できず、活用が難しかった。動画を小分けにするなどの工夫も必要である。